



令和3（2021）年 3学期のスタート

あけましておめでとうございます。

いよいよ3学期が始まりました。コロナ禍に見まわれ今までに例のない令和2年が終わりました。新しい年を迎えましたが、首都圏のみならず、広島県においても感染の終息が見通せないばかりか更に厳しい状況が続いています。

しかし、ネガティブに下を向いているわけにはいきません。学校は、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むための大切な場として、できうる感染予防対策をしながら3学期を乗り切るつもりです。海田町からはこれまでにサーキュレーターや自動検温器など対策物品も購入していただきましたし、常に窓を開けていることから、防寒着や長ズボンを着用して授業を受けられるようにきまりも見直しました。児童一人一人の予防意識も一層高めながら教育活動を進めたいと思います。

【始業式の言葉】

今日から3学期が始まりました。

児童の皆さん、どんな年末年始を過ごしたでしょうか。

今日は、二つの話をします。一つ目は、ことわざの話です。

「一年の計は元旦にあり」ということわざを聞いたことがありますか？

一年の計画は年の初めである元旦に立てるべきである、ということから、元旦に限らず、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切、という意味で使われます。

3学期は、4月から始まる学校の1年では、最後の3か月となります。でも、皆さんは、令和2年から令和3年、2020年から2021年に年が改まり、新たな気持ちで3学期を迎えることができているのではないのでしょうか。

この新たな気持ち、になっているときがチャンスです。今の学年は残り3か月です。できるようになりたいこと、できないかもしれなくてもがんばってみようと思うことを、何か一つでよいので、皆さんに目標を立ててほしいのです。目標を立てたら、何をしていけばよいのかを考えましょう。

例えば、縄跳びの後ろ跳びが20回できる人が50回連続で跳ぶのを目標にします。いきなり50回を目指すのではなく、1月中に30回を目指し、2月に40回、3月に50回というように、少しずつ目標に近づけていくという方法があります。

6年生の皆さんは、小学校最後の3学期ですね。新たな気持ちとともに、小学校生活の締めくくりとしての目標を立てて卒業式の日を迎えてほしいと思います。

二つ目は、引き続き新型コロナウイルス感染症の予防をしっかりやってほしいということです。

昨年は、3月までであると思っていた3学期が、新型コロナウイルスの感染拡大によって、2月で突然終わってしまいました。今年の3学期は、そんなことにならないよう、みんなが予防の意識を一層強くもって行動しなければなりません。今朝学校に来て1回は手を洗いましたか？ 外から戻ったとき、トイレなどみんなが使うところに行ったとき、給食の前、いつ手洗したらよいのかを自分で考えてできる予防を一人一人がするようにしましょう。

それでは3学期もみんな元気に、コロナに負けないようにがんばりましょう。